



蒸し暑い季節になりましたが、雨に濡れた緑や紫陽花の角間もとてもきれいです。法学類月報第 55 号では、中村正人先生のエッセイ、みずほ懸賞論文受賞者の寄稿、キャンパスビジット&スタディプログラムのお知らせをお届けします。

## ◆◆教員エッセイ◆◆

### 第 20 回 中村正人先生（東洋法制史）

#### ◆ 「宮守坂」について

私が学生時代を過ごした金沢大学法学部の建物は金沢城跡の二の丸跡地に建っていましたが、ここから中央公園方面に下る細くて長くて急な坂道が「宮守坂」です。この坂は、金沢大学出身の漫画家・清原なつ氏の作品（「なだれのイエス」）にも登場し、私も大学から香林坊・片町方面に向かう際によく利用していましたが、当時の学生達（そしておそらく教職員の方々も）はみなこの坂を「みやもりざか」と呼んでいました。上記の漫画でもわざわざ平仮名書きで「みやもり坂」と表記されています。

ところがある日、この坂は「いもりざか」と言うのだと知り驚きました。「宮守」と書いて何で「いもり」なのか(?\_?)と疑問に思い、少し調べてみたところ、一つ分かったのは、中国では「守宮（しゅきゅう）」という言葉がヤモリを指すという事実です。ヤモリが家の壁に張り付いている様子が、あたかも家屋（宮）を守っているように見えることからこの名がついたようです（もう一つ、『漢書』東方朔伝の顔師古注に別の説が述べられているのですが、お子様達の教育上あまりよろしくないような内容ですので割愛します）。しかしながら、ヤモリは爬虫類でイモリは両生類、全く別の生物です。「宮守坂」と書いて「やもりざか」と呼ぶのならまだしも、「いもりざか」と呼ぶのはどうにも解せません。どなたかご存知の方がいらっしゃれば、この坂の名称由来を教えてくださいませんか。



#### 「みずほ懸賞論文」の執筆をふりかえって

「論文の執筆作業は創造と破壊の繰り返しだ」—— 私が懸賞論文に取り掛かった時に、指導教員の永江先生よりそうアドバイスをいただきました。論文に挑むというのは、文章を書いては消し、消しては書くという作業を繰り返す途方も無い作業であることを意味していました。実際、その論文を先生に見ていただいたところ、ほとんどの部分に朱を入れられました。その上で、加筆・修正して、先生に指導していただくということを 10

回ほど繰り返した。最初は、どのように論文を加筆・修正するのかということに頭を悩ます日々でした。しかし、少しずつ私の論文のクオリティーが良くなっているのを感じていたため、次第に、その作業が楽しくなりました。最終的に論文を完成して提出した時には、えも言われぬ達成感があり、気分は爽快でした。

このように、論文を執筆するというのは、自身の文章力を向上させるだけでなく、自身の知的能力を高めるものだと感じました。

また、Twitter や LINE などにおいて、短文で書くことが多い今日、懸賞論文は時間の制約がある中で長い文章を書くのが難しいなどという点で、とっつきづらいものかと思えます。しかし、卒業されて社会で活躍されている先輩方の話を聞くと、学生時代にもう少し文章を書く力を磨くべきだったと語る先輩が多かったです。

このような事情からすると、長い文章を書き、評価される経験というのは、とても必要なことなのではないかと思えます。

(法学類企業関係法コース 4年 米澤響)

※第 59 回みずほ学術振興財団懸賞論文「法律の部・学生グループ」にて佳作を受賞。「法律の部・学生グループ」の入選者は米澤さんを含む佳作 2 名のみで、1 等～3 等は該当者なしでした。



## キャンパスビジット&スタディプログラム ～法学類企画のご案内～

### 8月9日(木)キャンパスビジット 2018

【1日コース】法学類の概要説明の後、裁判劇を制作した法学類生による“裁判劇をもっと深く味わうためのレクチャー”を受けます。昼食をはさんで裁判劇を傍聴し、さらに他の参加者や法学類生と一緒に、劇中の事件の解決方法を考えるディスカッションを体験することができます。

【半日コース】法学類の概要説明の後、法学類生が大学生活について語る「トークセッション with 金大 students」、または法学類生の上演する裁判劇の傍聴のどちらかを選んで参加することができます。(午前の部・午後の部共通)

### 8月10日(金)スタディプログラム

大学ならではの講座を高校生の方に体験していただく 60分×2コマのプログラムです(午前、午後の2回開講)。法学類では、「ペナルティの本質ってどんなもの？」と題し、ペナルティを科すことによってルールを守らせることの限界などを考えるという企画です。

どちらの企画も、参加には**事前の申込み(個人)**が必要です。申込み方法等については、金沢大学 Web サイト (<http://www.kanazawa-u.ac.jp/examination/event>) をご覧ください。法学類企画の詳細情報は法学類 Web サイトで随時お知らせします。

たくさんの方の高校生の皆さまのお越しをお待ちしています。

法学類HP  
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。 (<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>)  
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 ([n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。